

2021年度 事業報告書

2021年度は、長引くコロナ禍のなか入居サービスの安定稼働と、在宅サービスにおける利用促進及び元気な高齢者への在宅生活支援を中心に取り組みをおこなった。そうした中において、ご利用者、ご家族のご理解とご協力に加え、職員一丸となつての感染対策の結果当施設において一人の感染者も出すことなく次年度へつなげることができた。また、介護人材をはじめとした人材の安定確保が困難を極める当地域において、ケアマネジャーについても3名から2名体制への移行を余儀なくされる状況のなか、他法人や関係機関のご協力をいただき、地域のケアプランニーズに引き続きお応えする事ができることに深く感謝申し上げたい。

当法人が経営する各介護サービスについては、大小課題はあるものの、法人全体では安定経営を達成する事ができた。次年度に向けても地域の福祉ニーズに応えらるとともに、公益的な取組みにも更に力を入れていきたい。

<顧客の視点>

1. 地域、利用者ニーズに柔軟に対応することができる。

科学的介護情報システム(LIFE)の有効活用について、今年度はデータの入力や役割分担などを明確にするためのプロジェクトを立ち上げ取り組みをおこなった。次年度についてはシステムの有効活用を確実にいき、サービスの質の向上につなげていきたい。

在宅生活継続のための支援強化の取り組みについては、高齢者生活福祉センターの利用促進の取り組みの結果、一定の利用者増を達成できた。

特養入居ニーズへの継続対応については、退居から入居までの期間を極力短縮することで新規入居ニーズへの円滑な対応と安定経営の両立を実現できた。

<業務プロセスの視点>

2. 地域資源との連携を深め、開かれた施設サービスが提供できる。

在宅サービスにおける地域との連携強化については、長引くコロナ禍において実施する事が困難な状況であった。そうしたなかで、社会資源の有効活用の観点から、移動販売事業者等に施設前駐車場を利用してもらうことで、ご利用者などの潤いある生活支援ができた。

広報誌の充実化については、広報委員会を中心にその内容の検討をおこない、具体的かつ分かりやすい広報誌として一定の向上を図る事ができた。

リスク管理については、BCPの作成内容に感染症対策BCPを加え、実効性があるものの完成を目指し、委員会を中心に作成作業をおこなった。未達の部分については次年度での取り組みとされた。

<職員の学習と成長の視点>

3. 全職員が専門性、組織性、人間性を高め、自分らしく能力が発揮できる。

資格取得の支援体制強化として、今年度は主任介護支援専門員資格1名及び社会福祉主事任用資格の受講1名の実績であった。また、施設内学会を予定通り実施し、各職場間での取り組みの共有やサービスの質の向上が図られた。

次年度に向けて、資格取得等における財政支援や資格に対する手当等の在り方について検討課題としていく。

<財務の視点>

4. 最適事業規模による持続可能な安定した経営基盤が確立できる。

財務的数値は以下のとおりである。

経常増減差額は計画数値38,370千円は未達であったが前年対5,872千円増の、25,754千円の実績をあげる事ができた。

労働生産性の向上

- ① 給与換算職員一人当たりサービス活動収益前年度比5%以上の計画に対し、0.02%増の実績（職員一人当たりサービス活動収益、前年度7,285千円、今年度7,287千円）
- ② 在宅サービスにおける給与換算職員一人当たり利用者延件数前年度比4%以上の計画に対し、前年度比6.3%増の実績（在宅職員一人当たり利用者延件数、前年度935人、今年度994人）

法人経常増減差額率の向上

- ① 法人経常増減差額率6%以上の計画に対し、5.8%の実績（経常増減差額前年度19,882千円、今年度25,754千円）

長期人的資源に見合う事業規模の検討

- ① 職員離職率5%以下の計画に対し4.3%の実績（正規職員数、期首46名、退職者2名）

<公益的な取組みについて>

公益的な取組みを以下のとおりおこなった。

- ① 社会福祉法人等による利用者負担軽減制度により利用料の負担軽減
- ② 広報誌「ほほえみ」の発行により地域への福祉・介護の情報提供
- ③ 地域の事業所や関係機関で組織する「さくまだ和いネット」に参加し多職種で高齢者を見守る取り組みに参加
- ④ 地域包括北遠中央圏域協議体委員として、北遠地域の地域課題等を把握するとともに関係機関としての情報提供をおこなった。

2021年度 利用実績表

	特養	ショート
平均介護度	3.7	2.5
1日平均利用者数	44.3人	18.9人
利用延べ数	16,176人	6,875人
稼働率	100.7%	94.3%
新規利用者数	15人	41人

	デイ一般	デイ認知	元気はつらつ	訪問介護
平均介護度	1.4	1.9	—	1.3
1日平均利用者数	13.9人	3.6人	9.9人	7.3人
利用延べ数	4,278人	1,103人	939人	2,393人
稼働率	55.7%	44.6%	—	—
新規利用者数	25人	8人	3人	14人

	居宅支援	高福祉ター	いもほりの家
平均介護度	—	1.0	2.1
1日平均利用者数	76人	4.1人	18.3人
利用延べ数	912人	1,476人	6,670人
稼働率	—	50.6%	77.3%
新規利用者数	29人	3人	13人

※元気はつらつ教室：延べ利用者数は稼働日数95日（水・金）を基に算出

※居宅支援：平均利用者数は1ヶ月の給付管理対象者数の年間平均を掲載

※いもほりの家：稼働率は登録定員29名に対し年間平均登録者数22.4人を基に算出